

(別記様式第 15 号)

令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

佐久穂町

No.	事業項目	事業名
1	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害枯損木発見等立木調査業務
事業費		990,000 円 (うち支援金: 900,000 円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫の被害は年々拡大しており、佐久穂町も被害地域内に位置している。

このまま被害が拡大すると、佐久穂町以南のマツタケ産地である小海町や北相木村、南相木村にも被害が及ぶ可能性が高い。

(2) 本事業の目的

被害木を早期発見し、伐倒駆除等の効果的な総合防除を行い、拡大する被害を防止し、守るべき松林を守ることを目的とする。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 佐久穂町内全域

(2) 対象者 佐久穂町民

(3) 実施方法

被害木早期発見のための調査を林業業者へ委託し、実施した。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30～令和 4 年度)

佐久穂町内全域の被害木発見等立木調査を毎年度実施する。

②令和元年度実績 佐久穂町内全域の被害木発見等立木調査を実施した。



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

被害木の早期発見により、佐久穂町内へ拡大する被害を防止するとともに、近隣市町村への拡大を防止することができた。

(2) 継続性

被害木の調査により、早期発見し、被害拡大を防止するとともに、佐久穂町内の被害状況や拡大状況を把握することで今後も早期の対応をしていく。

(3) 普及性

被害木を調査し、所有者にお知らせすることで松くい虫被害について知ってもらい、防除の必要性や環境への影響、松林の適切な管理の重要性を知ることで被害防止の一助を担ってもらえることができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

被害木の調査により、被害木を早期発見することで伐倒駆除につなげることができた。また、佐久穂町内の被害状況や拡大状況を把握することができ、今後の対応につなげていく。

(2) 課題

松くい虫の被害は年々拡大傾向にあるため、早期発見による伐倒駆除が必要となる。そのため今後も調査業務を行い、松くい虫被害の拡大防止を図っていく必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

実施場所 佐久穂町内全域

実施方法 佐久穂町内全域の被害木発見等立木調査を実施する。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

令和元年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

佐久穂町

No.	事業項目	事業名
2	みんなの暮らしを守る 森林づくり	松くい虫被害防除対策業務
事業費		431,000 円 (うち支援金: 195,000 円)

事業目的

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

松くい虫の被害は年々拡大しており、佐久穂町も被害地域内に位置している。

このまま被害が拡大すると、佐久穂町以南のマツタケ産地である小海町や北相木村、南相木村にも被害が及ぶ可能性が高い。

(2) 本事業の目的

被害木も早期発見し、伐倒駆除等の効果的な総合防除を行い、拡大する被害を防止し、守るべき松林を守ることを目的とする。

事業内容

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 佐久穂町内全域

(2) 対象者 佐久穂町民

(3) 実施方法

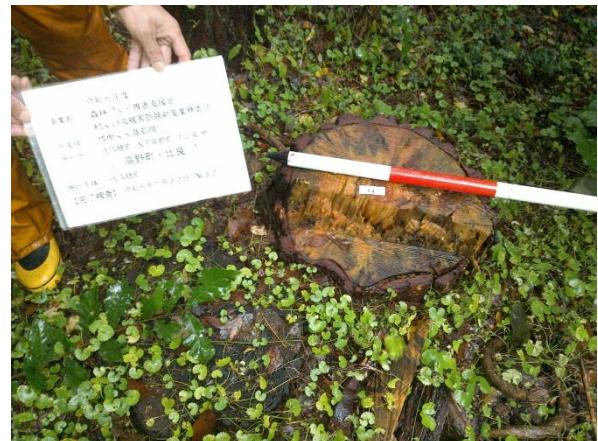
県が交付する補助金等の交付対象事業(松林健全化推進化事業等)の対象外となる被害木の伐倒駆除を林業事業者へ委託し、実施した。

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(平成30~令和4年度)

県の補助金交付対象外の箇所において伐倒駆除を実施予定。

②令和元年度実績 伐倒数12本(14m³)



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施の効果

被害木の伐倒駆除により、佐久穂町内へ拡大する被害を防止するとともに、近隣市町村への拡大を防止することができた。

(2) 継続性

集団的かつ継続的に発生している松くい虫被害に対して、被害木の伐倒駆除を継続することにより、拡大する被害を最小限に抑え、維持することができた。

(3) 普及性

被害木は松林の中では目立つものであり、伐倒駆除により事業実施の効果を知らせることができる。また、所有者へお知らせをすることで松くい虫被害について知ってもらい、防除の必要性や環境への影響、松林の適切な管理の重要性を知ることで被害防止の一助を担ってもらうことができる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

これまでは県が交付する補助金等の交付対象事業の対象となる被害木のための伐倒駆除を行っていたが、本事業により県の補助金交付対象外となる被害木についても伐倒駆除を行うことができた。それにより被害拡大防止に向けて、より一層の効果を発揮することができた。

(2) 課題

松くい虫被害は年々拡大傾向にあるため、今後も被害木の増加が懸念される。引き続き伐倒駆除により被害拡大防止を図っていく必要がある。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業実施見込み：伐倒数 20 本

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)